

# 第47回あかびら

# 火まつり



7月14、15日。一年で赤平が一番燃える二日間。

初日の会場では、赤平中学校の吹奏楽部がオープニングを盛り上げました。

パフォーマンスタイムではよさこいチーム北海道大学「縁」の演舞のほか、ダンスチームなどが会場を沸かせ、赤平ランナーたちへと、その熱を引き継ぎました。

市民のアツい気持ちとタイムツの灯りを運ぶ赤平ランナー。

会場のテンションが最高潮に達した時、その火はズリ山へと点火され、人々の目をくぎ付けにしました。

二日目はあいにくの雨にみまわれましたが、楽しみにしていた市民踊りは急ぎよ体育館で開催され、各チームが練習してきた踊りを披露し、北部地区育成会が優勝を果たして、喜びを分かち合いました。

雨が降ったことで花火大会の開催が懸念されましたが、火まつりに集った皆さんの願いが通じたのか、予定時刻には雨が上がり、5,000発の花火が打ち上げられ、色とりどりの大輪の花が咲きました。

たくさんの方々の思いが詰まった二日間でした。





